

問題解決型学習と脳科学知見型との指導過程比較表

A パターン	脳科学の知見を もとにした指導	B パターン
<p>自力解決の時間を十分に確保し、コミュニケーションを軸にした練り上げを充実させる。</p>		<p>作業指示、確認、賞賛をショートスパンで繰り返し行い、教師主導でアルゴリズム（解き方）の方法を重視する。</p>
<p>つかむ 問題文を読み、ノートに書く。課題をつかませる。「わかっていること」、「もとめること」を確認する。</p>	<p style="text-align: center;">小刻みな問いかけ リズム、テンポの意識</p> <p style="text-align: center;">指差し 隣同士の確認作業</p>	<p>つかむ 問題文を読み、ノートに書く。課題をつかませる。分かりきったこと、決まりきったことを発問</p>
<p>考える 課題を既習事項と結びつける。図、表、数直線を書いてイメージをさせる。</p>	<p style="text-align: center;">黑板視写 強く濃く書くノート作り</p>	<p>考える 課題を既習事項と結びつける。図、表、数直線を書いてイメージをさせる。「見る・そっくり写す・声に出して読む」</p>
<p>やってみる 答えの出し方を言えるようにする。他の方法を探す。</p>	<p style="text-align: center;">手足を動かさず作業</p>	<p>やってみる 教師とともに解決していく。読む活動の充実 書く活動の充実</p>
<p>比べる 「にているところ」、「ちがうところ」を確認する。よりよい考えを確認する。</p>	<p style="text-align: center;">ショートスパンの評価 短く力強い賞賛 全員読み・追い読み・個人読み コミュニケーション 力強い語り 30秒をこえない説明 アルゴリズム（解き方）重視 本質に迫る問いかけ・切り返し</p>	<p>比べる</p>
<p>まとめる まとめを読み、ノートに書くようにする。次時の予告をする。</p>	<p style="text-align: center;">達成感の確認</p>	<p>まとめる 目標の振り返り 次時の予告をする。</p>

